

# 日経産業新聞

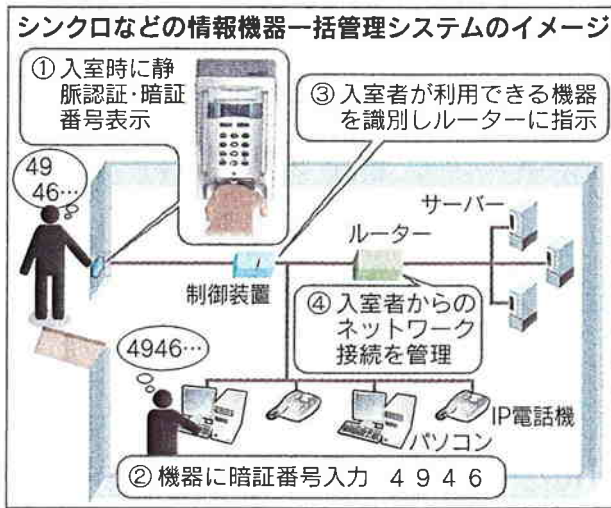
2009年(平成21年)  
9月4日  
金曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

■日経産業新聞オンライン <http://biz.nikkei.co.jp/>

■購読のお申し込み ☎0120-21-4946 <http://www.nikkei.com>

## シンクロとインテリボイス



## 暗証番号入力すれば すべて利用可能

シンクロ（東京・千代田、室木勝行社長）とインテリボイス（同、中村健社長）は共同で、社内ネットワークに接続した情報機器の利用の可否を、安全性の高い静脈認証で丸ごと管理するシステムを開発した。オフィスの入り口で1回認証すれば、どのパソコンでも簡単な暗証番号を打ち込むだけで「自分の端末」として使えるようになる。

制御装置側では暗証番号によってどの社員かを認識する。制御装置にはあらかじめ、社員の資格などに応じて、誰にサーバーへの接続や複合機での印刷を認めるかの情報を入力しておく。制御装置が本人による適正な利用と判断すれば、ルーターと呼ばれる経路制御装置と連携して社員がパソコンなどを利用できるよ

# オフィス のPC 丸ごとと静脈認証

複合機で印刷できるかどうかを社員の資格に応じて細かく管理することなども可能。パソコンなど1台1台に静脈認証装置を備えるのと同程度の安全性を安価に確保でき、近く販売代理店の募集を始め、10月にも主に中小企業向けに発売する。

オフィス入り口の静脈認証装置で手の甲の静脈を読み取り、本人と確認できれば認証装置の画面に4ケタの暗証番号を表示する。社員はパソコンやIP（インターネットプロトコル）電話機に暗証番号を入力する。

例えばアルバイトが自席のパソコンから複合機に文書を出力してもルーターによって阻止される。印刷できないが、同じパソコンを社員が利用した場合は印刷できるといった具合に、機器利用を管理できる。暗証番号は社員が入室するたびに変わるため、「なりすまし」を防げる。

暗証番号を入力すればどの情報機器でも使える

ので、机やパソコンなどを社員間で共有する「フリーアドレス」型のオフィスでも容易に導入できる。

価格は今後詰めるが、静脈認証装置と制御装置、ルーター、IP電話機3台の基本構成で350万〜400万円程度を想定。ユーザーは自社のパソコンなど端末機器100台をこのシステムで利用できる。1年で300件の販売を目指す。